

第2章

「ぎよく さい玉碎」を強いられるウクライナ兵

— 腐敗、暗殺、臓器売買の世界的中心ウクライナ



プーチンが「誘拐した」という子どもたちはロシアでどんな生活を楽しんでいたのか。

上の写真にあるように、彼らは戦火を逃れて、ペテルスブルグの芸術村で思う存分、平和と芸術を楽しんでいた。

ICC's Putin arrest warrant based on State Dept-funded report that debunked itself
<http://tmmethod.blog.fc2.com/blog-entry-1431.html> (『翻訳NEWS』2023/03/31)

マリウポリ市アゾフスタル製鉄所、ソレダル市の巨大地下要塞（岩塩採掘場）に引き続き、ウクライナ軍の第3の要衝バフムートが完全包囲され、ウクライナ戦も先が見えてきました。そのことを示すのが次の記事です。これは「米軍高官」がそういうことを言っているという記事ですから、なおさら興味深いことだと思えます。

* The Foreseeable End of Ukraine 「ウクライナの敗戦が見えてきた」
<http://immethethod.blog.fc2.com/blog-entry-1324.html> (『翻訳NEWS』2023/03/10)

ところが、それと併行してグルジア（現「ジョージア」）に新たな火種が焚きつけられようとしています。ウクライナの負け戦が見えてきたので、ロシア軍を分散させて少しでもグルジアにロシア軍を振り向けさせようとしているのかも知れません。

* US Sparks Turmoil in Georgia to Open New Front Against Russia
「ロシアに対する新しい代理組織を打ち立てようと、米国はジョージアでの騒乱に火付け」
<http://immethethod.blog.fc2.com/blog-entry-1325.html> (『翻訳NEWS』2023/03/17)

あるいは、大手メディアの紙面をグルジアの「カラー革命」のニュースで埋め、欧米民衆の眼がウクライナ敗北に向かないようにするというアメリカの戦略かも知れません。

いずれにしても、ウクライナの惨状は、ウクライナ軍兵士の徴兵のやり方にも顕あらわれています。次の記事に付けられている動画は、通りを歩いている若者にとつぜん襲いかかって拉致し、救急車に放り込むという場面も映し出しています。こんなやり方をしないと徴兵できないということです。

* Ukraine: The Growing Backlash against the Methods of Conscription

「ウクライナでは徴兵のやり方に対する反発が高まっている」
<http://mmmethod.blog.fc2.com/blog-entry-1329.html> (『翻訳NEWS』2023/03/19)

岸田政権も、アメリカによる「中国包囲政策」「台湾に火を付けて自衛隊を中国軍と戦わせようとする政策」に加担し、その勢いを急速に強めていますから、ウクライナと同じ状況に近い将来、日本にも生まれる可能性があります。最近、話題になり始めた「憲法改悪」↓「緊急事態条項」もその一環でしょう。

* Under the US Watch, Japan Sets Sail for Militarization 「米国の監視の下で、日本は軍国主義に舵を切る」
<http://mmmethod.blog.fc2.com/blog-entry-1226.html> (『翻訳NEWS』2023/01/03)

2

他方、コロナワクチン後遺症の恐ろしいニュースも続いています。ワクチン接種後、競技中



ワクチンで両足切断に追い込まれた少女に、
「ワクチンのおかげで死なずに済んだ」と言わせるCNNの残酷さ

に急死したスポーツ選手やパイロットが航行中に急死したニュースが次々と出てきていて、「炭鉱のカナリア」かと言われています。

次の記事はワクチンで両足切断に追い込まれた少女に、「ワクチンのおかげで、コロナに罹^かって死なずに済んで幸せ」と言わせているCNNの記事についてで、その残酷さには胸が痛みます。

* Young People Who Suffered Blood Clots and Amputations After COVID-19 Vaccination Are Being Lied to, and Media Uses Them to Lie to Us 「Covidワクチン接種後に血栓^かと脚の切断に苦しんでいる若者たちは騙^かされている。そして報道機関は彼らを使って私たちを騙^かしている」

<http://innmethodblog.fc2.com/blog-entry-1340.html> (『翻訳NEWS』2023/03/23)

また、若い女性ピアニストがワクチン接種後に血栓症^かに罹^かり、全身に壊疽^{えそ}をおこし、両脚と両手の指すべてを切断しなければ命を救えなかった、



という記事も出ました。

* Musicians Injured, Disabled or Killed by COVID-19 Vaccines (Or Suspected Injuries)

「コロナワクチンによって負傷したり、障害者となったり、死亡した(またはその疑いのある)音楽家たち」

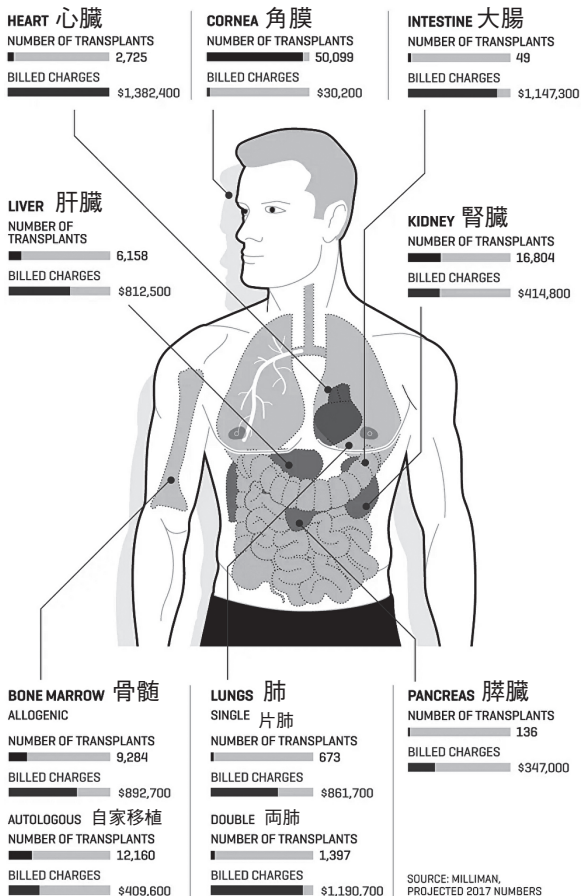
<http://innethodblog.fc2.com/blog-entry-1490.html> (『翻訳NEWS』2023/05/04)

このピアニストの他にも、この記事には、ワクチン推進派であったセリーヌ・ディオーンが、ワクチン後遺症で、今後はコンサート活動をできなくなったと発表したことが紹介されています。

最近(六月)、やはり公然としたワクチン支持派だったマドンナも意識障害で病院に搬送され、重い細菌感染症で起き上がれない状態であることを明らかにしています。マドンナの入院は、彼女の病気とコロナワクチンとの関連性を探ろうとする一連の反ワクチンコメントを引き起こしたと記事は語っています。

アメリカにおける臓器移植の年間件数とその臓器売買の平均額

ANNUAL NUMBER OF TRANSPLANTS IN THE U.S. AND AVERAGE AMOUNT BILLED



心臓 138万ドル, 角膜 3万ドル, 大腸 115万ドル
 肝臓 81万ドル, 腎臓 41万ドル,
 骨髄 89万ドル, 片肺 86万ドル, 膵臓 35万ドル
 両肺 119万ドル

(2017年時点)

それにもまして恐ろしいのは、次の臓器売買の記事です。

* After Madonna Hospitalized in ICU, Anti-Vaccine Conspiracies Mount
<https://www.newsweek.com/madonna-hospitalization-bacterial-infection-anti-vaccine-1809877> By Tom Norton On 6/29/23

* Human Beings Disassembled “Like Legos” Part 2 of an investigative report on human trafficking in Ukraine
(積木細工のように「解体される人間たち：ウクライナのおぞましい臓器売買の調査報告書」第2部)
<https://medium.com/@deboraharmstrong/human-beings-disassembled-like-legos-faabl1e19ef41> Deborah L. Armstrong Jan 13, 2023

3

プーチンのロシア政府は、ここに来てようやく「キエフとの交渉による和平」を諦めたようです。

なぜならこの戦争は実質的には「キエフを道具に使った」「アメリカのロシアにたいする戦争」だということを確信したからです。

キエフがどれだけ望もうともバイデン政権の目的は「ロシアの弱体化・政権転覆」です。から、キエフは「最後の一人まで」ロシアと戦うことを強いられるでしょうし、EU諸国も自分の国の兵器庫が空になってもキエフ支援を要請されるでしょう。

4

バイデン政権にとってはキエフが廃墟になろうがEUが崩壊しようが知ったことではありません。むしろ競争相手になる可能性があったドイツが弱体化し、ドイツの工場がアメ

リカに移転してくれた方が有り難いのです。

何しろ金融業が主力になったアメリカは製造業を中国に移転させた結果、国内は空洞状態になっていました。バイデン政権はこのことに気づき、その穴埋めにドイツ企業がアメリカに移動してくれることに大歓迎なのですから。

他方ドイツ企業はロシアから石油・天然ガスが来なくなったので、工場を動かす燃料がなくなりアメリカに移転せざるを得ません。

アメリカが海底パイプラインを破壊し、ロシアからドイツへの燃料を停止させたのも、そこに狙いがあつたことは、ベテラン記者シーモア・ハーシュの暴露記事からも明らかです。にもかかわらずドイツがバイデン政権の言いなりになっていることは悲劇としか言いようがありません。同じことは岸田政権についても言えます。

5

第2次世界大戦で敗戦国となった日本とドイツに、二度と再びアメリカに対抗する経済力を与えてはならないのです。そのような力を持ち始めたら事前に潰さねばなりません。ウクライナ戦争はその絶好の口実として使われていますし、来たるべき台湾紛争(中国戦争)

も日本を潰すための絶好の口実となるでしょう。

原爆を投下された広島の出身である岸田首相が、そのことに気づかないとすれば、これまた悲劇としか言いようがありません。あるいは安倍晋三元首相の暗殺を機に、そのことに気づいたからこそその保身の術としてアメリカにすり寄っているのかもしれませんが、だとすれば岸田氏は「売国奴」ということになるでしょう。

ユダヤ人であることを売り物にしたゼレンスキー大統領が、「ユダヤ人絶滅を目指したナチス」の残党勢力を自分の政権維持の土台とせざるを得なかったという皮肉と似ています。

6

人氣がガタ落ちのバイデン政権は、前大統領トランプの訴追を画策し、次の大統領選挙で民主党政権を維持したいのですが、イーロン・マスクがツイッター社を買収し、アメリカにおける「ウィキリークス創始者アサンジ」の役割を果たそうとしていることに、今後のアメリカにたいする微かな「明かり」を見いだしたいと思っています。

もうひとつの「明かり」はウクライナ軍最後の拠点であったバフムートが陥落したことです。ウクライナは勝利すると言いつつ続けてきた欧米のメディア（日本の大手メディアも同じ）は、



サンクトペテルブルクのカフェの爆発で殺された、有名なロシアの軍事プロガー

これについて沈黙を続けてきたのですが、その絶好の口実となったのがロシア人の軍事プロガー暗殺でした。今やメディアはこの話題で花盛りですから、「バフムート陥落」は完全にメディアから消えました。

* Key Donbass city surrounded—Wagner chief

「ドンバスの要衝都市バフムートは包囲された」

(ワグナー軍事会社代表からの声明)

<http://innethodblog.fc2.com/blog-entry-1301.html> (『翻訳NEWS』2023/02/09)

しかし、この「バフムート陥落」は今後の政局・戦局の大きな転換点になることは間違いありません。

7

ウクライナ軍の敗北が眼に見え始め、NATO諸国の武器庫も空になり始めたので、いま英米が新しく始めたのは、ウクライナに劣化ウラン弾を送ったり、クラスター爆弾を送ろうとする動きです。

しかし、イラク戦争時、アメリカが劣化ウラン弾を使って世論の大きな非難を浴びたにもかかわらず、イギリスは劣化ウラン弾をウクライナに送ろうとしたり、クラスター爆弾をアメリカがウクライナに送ろうとしています。

* UK's depleted uranium plan threatens all of Europe 「英国の劣化ウラン弾の計画は欧州全域に脅威をもたらす」
〈副題〉 The Ukraine conflict could descend into a fight "to the last European," a top Russian lawmaker has warned 「ウクライナでの紛争が、『欧州人が最後の一人になるまで』の戦いに変質すると、ロシア国家院議長が警告」
<http://tmmethod.blog.fc2.com/blog-entry-1358.html> (『翻訳NEWS』2023/03/28)

* Ukraine asks US for cluster munitions - Reuters 「ウクライナは米国にクラスター弾の供給を要請(ロイター通信の報道)」
〈副題〉 Kiev reportedly wants MK-20 cluster bombs, a weapon prohibited in more than 100 countries 「100カ国以上で禁止されているクラスター爆弾 MK-20 をキエフ政権は要求」
<http://tmmethod.blog.fc2.com/blog-entry-1359.html> (『翻訳NEWS』2023/03/28)

8

劣化ウラン弾にしろクラスター爆弾にしろ、いずれもこれを使うことは「戦争犯罪」として国際的には強い非難を浴びているものです。

ところがICC国際刑事裁判所は「プーチンを戦争犯罪者として訴追する」と言いながら、これらの武器をイラクやユーゴスラビアで使ったアメリカ大統領を訴追することは

フランス全土で、「ウクライナ支援ではなく国民を支援しろ」と、巨大な200万人デモと集会

<https://www.rt.com/news/572584-france-pension-reform-protests/>



「定年を62歳から64歳に引き上げる」法案に抗議するフランス民衆。だが日本では？

まったく考えていないようです。これほどひどいダブルスタンダードはありません。

劣化ウラン弾をウクライナで使うことは、死の灰をウクライナに撒き散らし、住めない国土にするということです。風の動きでは、その死の灰は欧州にも流れ込むでしょう。

アメリカやイギリスは、ロシアという国を潰すためには、ウクライナどころかドイツなどのEU諸国を潰してもよいと考えているようです。とくにドイツは、ロシアと手を握った場合、経済大国として将来アメリカに対抗する勢力になり得るわけですから、一石二鳥なのでしよう。

このままロシアと中国への封じ込め政策が進めば、日本もドイツと同じ運命を歩むこと

になるでしょう。が、岸田政権には、そのような光景が眼に浮かんでいないようです。

アメリカのシリコン・バレー銀行（SVB）の破綻がドルとアメリカ支配の崩壊につながりかねません。それも岸田政権に分かっているのかどうか。

* Dozens of US banks at risk of repeating SVB collapse - study

「数十の米銀がSVBの破綻劇を繰り返す危険性」

<http://innmethod.blog.fc2.com/blog-entry-1371.html> (『翻訳NEWS』2023/03/30)

9

ところで、私のブログ「研究所、花だより」では次のような記事があることだけを紹介し、あとは「アロエと私」の記事に移りました。

(1) Ukraine will 'disappear' - Medvedev (ウクライナは「消滅」する、メドベージェフ)

〈副題〉 Nobody in the world, even its own citizens, really cares about "country 404," the former Russian president claims (世界の誰も、自国民すらも「404国」を気にもかけない、と前ロシア大統領)

<https://www.rt.com/news/574402-ukraine-medvedev-us-china/> 8 Apr. 2023

(2) Musk responds to criticism over Medvedev tweet

「マスク氏、メドベージェフ氏(前露大統領)のツイートに対する批判に反論」

〈副題〉 The Twitter CEO refused to censor the ex-Russian president and instead suggested users should make

their own minds up (マスク氏は、前ロシア大統領の検閲を拒否し、代わりに利用者が自分で判断すべきと提案)

<http://tmmethodblog.fc2.com/blog-entry-1435.html> (『翻訳NEWS』2023/04/13)

まず上記(1)です。アメリカは「最後の一人になるまでロシアと戦え」と言っているわけですから、ゼレンスキー大統領がロシアとの和平交渉に応じなければ、ウクライナ軍は戦えば戦うほど戦死者が増え、結局ウクライナ領土で戦うのは外国人傭兵かNATO軍以外には誰もいなくなる可能性があります。

これは国家としてのウクライナが消滅することを意味しています。

しかしアメリカやNATOの目的は「ロシアの弱体化・政権転覆」ですから、その目的さえ達成すればよいのであって、ウクライナという国家が消滅しても一向に構わないわけです。それがメドベージェフ前大統領が「このまま行くと、ウクライナは『404国家』になる」と言った意味でしょう。

しかし欧米の支配層にとっては「404国家」という侮蔑的な言葉でウクライナを形容することは許せないことですから「あのような侮蔑的な用語を使う人物のツイッターはすぐ停止しろ」という、ツイッター社の社長イーロン・マスクにたいする要求になったのです。

これにたいするイーロン・マスクの返答が(2)の記事でした。マスク氏の回答は、「私は言論の自由を守る」「言論には言論で闘え」というものでした。

そもそもマスク氏がツイッター社を買収したのは、「政府に異を唱える言論を検閲する機関」になってしまっているツイッター社、「政府の手先に成り下がっている会社」を買い取って、それを本来の姿に戻すことでしたから、このような返答は至極当然のものでした。

ウクライナ軍の要衝バフムートが完全包囲されたことを見れば分かるように、これ以上の戦いは死者を増やすばかりであることは、米軍統合参謀本部議長ミリー將軍すら認めていることです。だからメドベージェフの言も、単に彼の希望的観測を述べていたわけではありません。

ところが「ウクライナ軍は勝つ」と言い続けてきた欧米のメディアも日本のメディアも、今さら前言を撤回するわけにはいかないので、メドベージェフの使った「404国家」という用語に飛びついて、その攻撃に精力を注ぐことになったのでしょう。

しかしメドベージェフ前大統領の使った用語「404」は調べてみると、コンピュータ

用語として日常的に使われているもので特に侮蔑的な意味を持つていないことが分かりました。ですからトレンドな用語を使ったメドベージェフの言に、私は一種のユーモアすら感じてしまいました。

11

ここまで書いてきたとき、最新ニュースとして次の(3)が飛び込んできました。

(3) Zelensky and team stole at least \$400 million of US aid - Seymour Hersh
「シーモア・ハーシユの爆弾報告・ゼレンスキーが、米からウクライナへの支援金4億ドルを横領」
<http://tmmethod.blog.fc2.com/blog-entry-1494.html>〔翻訳NEWS〕2023/05/06〕

もともとゼレンスキー政権が腐敗墮落していることはよく知られた事実でしたが(『ウクライナ問題の正体3』)、ここまで墮落していることが暴露されてしまったのは、ゼレンスキー政権の末路はすでに見えてしまったも同然です。

一刻も早く辞任することがウクライナを「404国家」にしないための最善の道かもしれない。